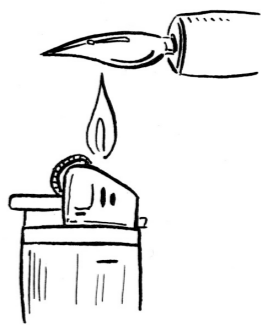
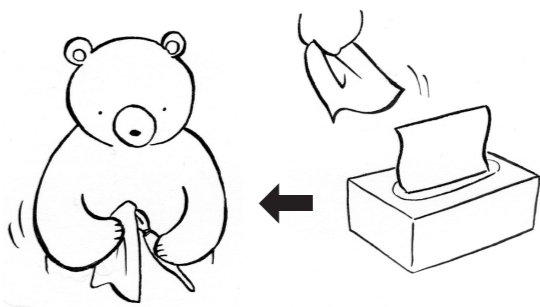
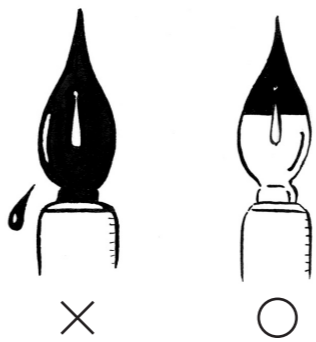


「1」ペンの使い方

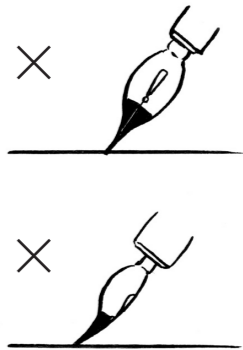
●新しいペンは、さび止めの油を塗っているため、インクを弾きやすい。使う前にペンをティッシュなどで拭くか、ライターであぶり、油分を飛ばす。



●インクをつける量は、ペン先の半分程度。あまりつけすぎると、原稿を汚す原因となる。

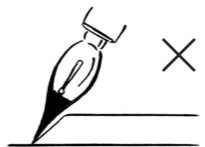
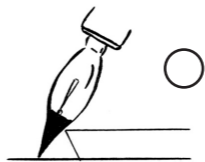
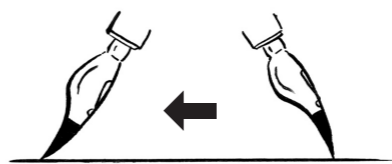
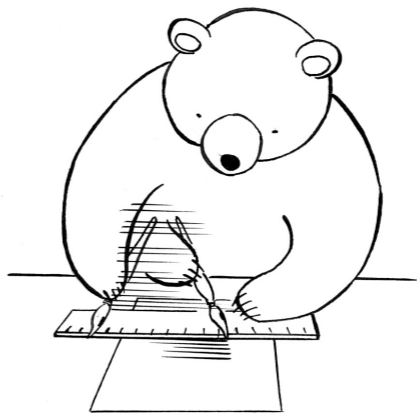


●フリーハンドで線を引く場合…
ペン先の正面が、自分から見て前を向いている状態が、最もきれいな線が引ける。



●定規で線を引く場合…

線はできるだけ横方向に引く。その方が安定した線が引けるし、抜きもスムーズ。ペン先の正面が、自分から見て左を向いている状態にする（右利きの場合）。定規の方向にも注意する。



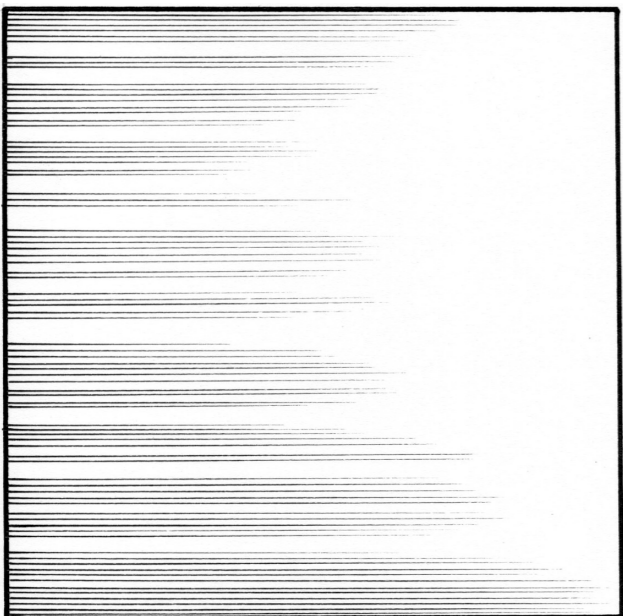
●フリーハンドで線を引く。

(細い線)



●定規で線を引く。

(直定規)



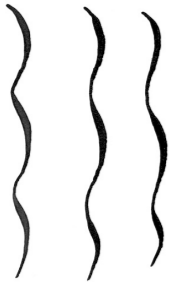
(雲型定規)



(太い線)



(強弱をつけた線)

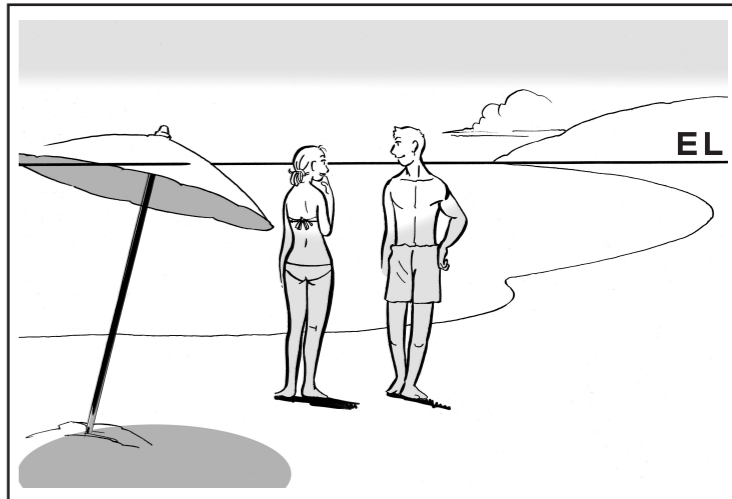


〔2〕水平線(地平線)と消失点

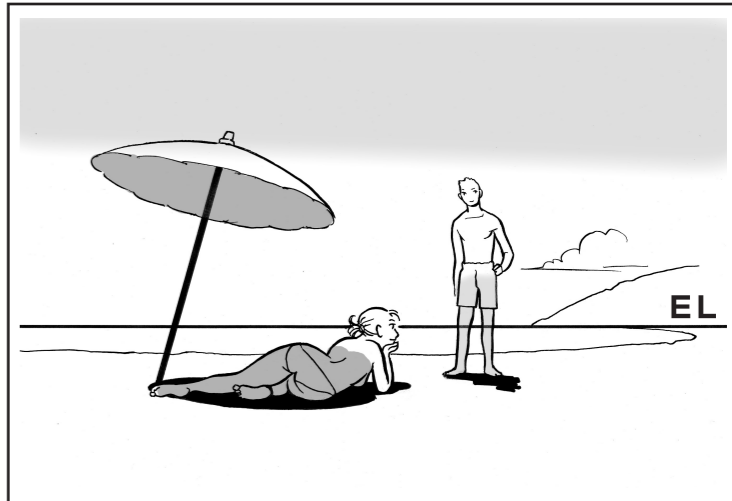
●水平線(地平線)

気づいている人も多いと思うが、水平線はその風景を見ている人の「目の高さ」にある。
 高い所から風景を見れば水平線は高くなり、低い所から見れば水平線は低くなる。パースの世界では、この水平線にあたる直線を **ML**(アイレベル/目の高さ)とすることが多い。
 一点、二点透視の場合、この水平線上に消失点ができる。

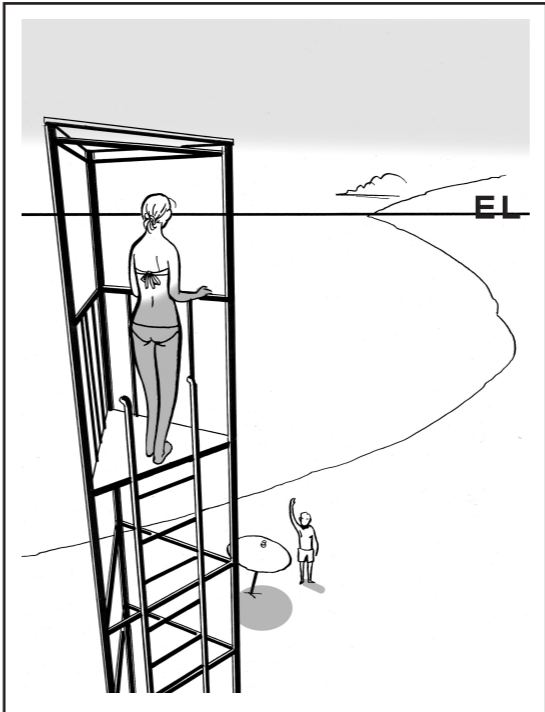
アイレベルポジション



ローポジション



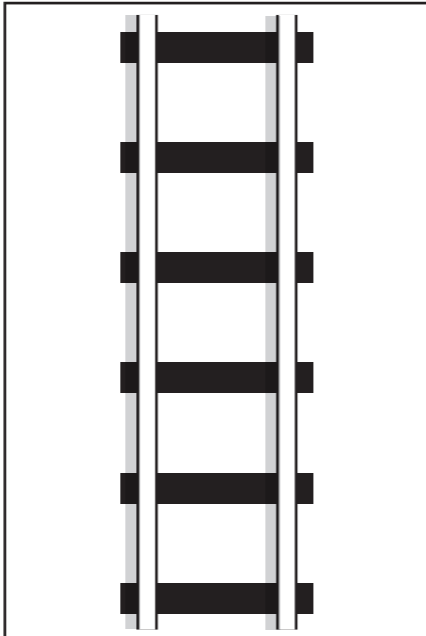
ハイポジション



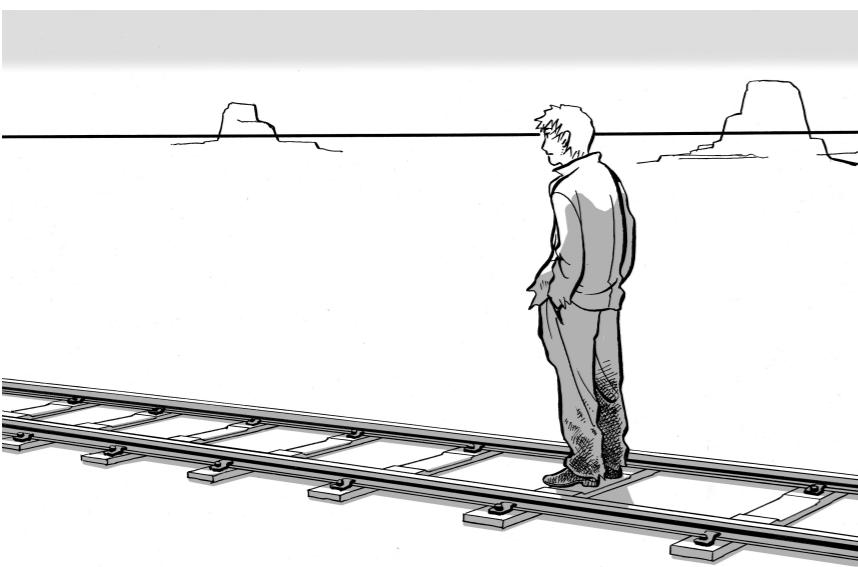
●消失点

例えば2本のレールは平行に置かれている訳だからどこまでいっても交わることはない。
 しかし、線路上に人が立ち地平線の彼方を見て、画面上に表した場合、2本のレール(平行線)は地平線上で1つの点に集中する。これが消失点(VP)になる。

① 平行に敷かれた2本のレール。



② 線路の真ん中に立ち彼方を見ると... 地平線上の点に集中する。



③ これは線路が3本になっても、レールが平行に敷かれている限り同じ点に集中する。つまり、同じ消失点から出ている直線(パースライン)は全て平行だといえる。

